

京都市立芸術大学移転整備基本構想（案）に対する市民意見募集の結果について

1 市民意見募集の概要

- (1) 募集期間 平成27年2月17日（火）～3月18日（水）
- (2) 募集方法 概要版の配布（市役所，区役所・支所，図書館等），インターネット，市民しんぶん等
- (3) 応募方法 郵送，FAX，電子メール又は送信フォーム

2 応募結果

応募者数 216名（意見数 273件）

（年齢別）

年齢	応募者数（名）	
20歳代未満	5	2%
20歳代	26	12%
30歳代	53	25%
40歳代	28	13%
50歳代	38	18%
60歳代	32	15%
70歳代以上	28	13%
不明	6	3%
合計	216	100%

（性別）

性別	応募者数（名）	
男性	147	68%
女性	63	29%
不明	6	3%
合計	216	100%

（居住地別）

居住地	応募者数（名）	
京都市在住	152	70%
京都市在勤	43	20%
それ以外	15	7%
不明	6	3%
合計	216	100%

3 御意見の内訳

（1）構想の項目別

項目	意見数（件）
1 全般について	56
2 移転予定地の現状	11
3 基本理念・施設整備方針	78
4 移転予定地の利用計画	55
5 必要と考える規模	8
6 移転予定地の既存施設	21
7 事業スケジュール	9
8 事業手法	1
9 移転整備プレ事業	1
10 西京区・洛西地域の取組	9
11 その他	24
合計	273

（2）意見の内容別

肯定的な意見（257件）	
移転に賛成	25
銅駝高校との合築を要望	23
移転予定地でのグラウンド確保を要望	11

など

否定的な意見（8件）	
移転予定地は他での利用を	4
中心部と周辺部に格差ができる	1

など

その他（8件）	
伝統芸能・音楽の研究拡充	4
移転を機に校名改称	1

など

4 主な御意見（要旨）と御意見に対する本市の考え方 別紙のとおり。

○ 御意見者数：216名， 御意見総数：273件

1 全般について（56件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都芸大の崇仁地域への移転整備に賛成する。	25	京都の玄関口である京都駅の東部エリアに、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生することを移転整備の基本理念として、引き続き取組を進めてまいります。
真ん中にきても同じ。本当に実力があれば現在地でも人は集まる。立地や受験生のせいによらず、自助努力をしてほしい。	1	京都芸大の崇仁地域への移転は、京都芸大の発展はもとより、周辺地域を含めて京都全体のまちづくりが一層進展する契機となり、京都の都市格と魅力の向上に大きく貢献するものと考えております。
たった1200人の活動にいくらつぎ込まれるのか。すごい金額だろう。他にやることあるのではないか。	1	また、京都芸大の跡地活用も含め、京都全体のまちづくりという観点のもと、移転整備事業を進めてまいります。
学生が自由に研究・制作しやすい環境への配慮が行き届いていないまま勇み足で計画が進められている印象しかせず、大変不信感を抱いている。	1	なお、本構想の策定に当たっては、大学教員との協議や学生へのインタビュー、崇仁地域を含む京都駅東エリアを中心とした地域の方々とのワークショップ、今回の市民意見募集を実施しており、今後も様々な方々の御意見をお聴きするとともに、合わせて情報発信にも努めてまいります。
巨大な事業にも関わらず、市民への説明がない。移転の動機に納得ができないし、市内中心部と周辺部の格差が一層広がる要因を作っている。京都市の芸術の展望が分からない。	1	まちづくりが長期化している崇仁地域においては、一刻も早くまちづくり進展を図ることが、地域の方々の悲願であり、市政の重要課題であると考えております。
京都市民の遺産である貴重な一等地は、京都芸大のためではなく、京都市民のために利用していただきたい。京都駅の近くに、例えばコンサートホール（能楽や演劇もできる）や大規模で快適な図書館、そして美術館を建設していただきたい。現在地でも良い取組をすれば、大勢の人は集まる。	2	今回の移転整備は、地域の方々が主体的に取り組むまちづくりの方向性に合致するとともに、京都市の文化芸術の大きな財産である京都芸大の力を一層活用した文化芸術都市の更なる発展という観点も合わせて、十分に検討を行ったうえで、最終的に判断したものですので、御理解ください。
移転予定地は京都芸大で使うより売却すべき。京都市財政にとってもプラスになる。	1	現在地近くには桂キャンパスもあるのだから、京都大学の芸術学部大枝キャンパスにすれば、もっと迫力がつくしインパクトもある。京都芸大にあの土地を使うのはもったいない。予定地は別の使い方にすべき。
現在地近くには桂キャンパスもあるのだから、京都大学の芸術学部大枝キャンパスにすれば、もっと迫力がつくしインパクトもある。京都芸大にあの土地を使うのはもったいない。予定地は別の使い方にすべき。	1	塩小路通の北側や崇仁南部地域、東九条地域や東山エリアも含めた移転地周辺エリアの活性化にも資するものとしてほしい。
京都芸大のキャンパス移転だけでなく、周辺部も含めてもっと広い視野で計画を策定してほしい。	10	京都芸大の移転は、京都のまち全体の発展に資するものでなければならぬと考えております。
京都中心部へ移転することを機に、京都市の芸術大学として、京都市のまちづくりや市全体の活性化へさらに積極的に取り組んでほしい。崇仁地域だけにとどまるのではなく、京都市全体の各地域と相互に協力して、京都芸大の人材や資源を活用できるよう取り組んでほしい。	2	京都の中心部における大胆かつ挑戦的なまちづくりが大きく動き出すことで、京都全体の特色あるまちづくりが一層進展する契機となり、京都の都市格と魅力の向上につながるよう取り組んでまいります。
京都中心部へ移転することを機に、京都市の芸術大学として、京都市のまちづくりや市全体の活性化へさらに積極的に取り組んでほしい。崇仁地域だけにとどまるのではなく、京都市全体の各地域と相互に協力して、京都芸大の人材や資源を活用できるよう取り組んでほしい。	4	いわゆる「崇仁のまちづくり」とは区別すること。大学の地元は京都市全域であり、地域住民とは全京都市民である。
いわゆる「崇仁のまちづくり」とは区別すること。大学の地元は京都市全域であり、地域住民とは全京都市民である。	1	芸術大学と博物館、美術館、ほかの美術大学との連携はないのか。また、京都堀川音楽高校や銅駝美術工芸高校との連携を深めてほしい。
芸術大学と博物館、美術館、ほかの美術大学との連携はないのか。また、京都堀川音楽高校や銅駝美術工芸高校との連携を深めてほしい。	5	祇園祭大船鉾の青海波の裾幕の作成は、非常に良い取組だったと思う。伝統行事や芸能、産業の継承・発展にこれまで以上に学生さんが担ってもらえるよう、地域や経済界との連携が一層望ましい。
祇園祭大船鉾の青海波の裾幕の作成は、非常に良い取組だったと思う。伝統行事や芸能、産業の継承・発展にこれまで以上に学生さんが担ってもらえるよう、地域や経済界との連携が一層望ましい。	1	崇仁地域への移転整備は、市内中心部という環境を生かした国内外の企業や他大学、小中高等学校等の様々な分野の人々との交流や連携の活発化をもたらすと考えており、京都の都市格と魅力の向上に貢献できるよう、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。

2 移転予定地の現状（11件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
芸大の移転によって多くの人が京都駅や京阪七条駅から通行することが予想されるため、塩小路通の歩道拡幅や塩小路通以外のアクセス経路の確保、鴨川遊歩道の整備など、芸大敷地周辺のインフラ整備が欠かせないと思う。	4	関係機関とも協議しながら検討してまいります。
京都駅から新芸大へ歩いていくとき、塩小路通の交差点まで行かなければならず、危ない。南べりに通れる道を作れないか。	1	
このエリアを中心に、南区や東山区などに、アーティスト・イン・レジデンス、ギャラリー、各国レストラン・カフェ、楽器店、画材店等、楽しい店舗等が集積するよう、上手に誘導してほしい。	1	御意見を参考にさせていただきます。
大学移転とあわせて、外部から頻繁に市民や市外の方が訪れるまちづくりも、具体的に盛り込めればよい。例えば、商業施設（大型店舗、映画館）などがあればよいのではないか。	1	
人口減少の進む地域を再生するためには、民間マンションを周辺に多く配置することが必要だ。芸大と連携した授業を組み込むなど、下京渉成小学校を魅力的な学校にすることで、ファミリー層をひきつけ、地域の人口増加を実現させてはどうか（固定資産税の増加も期待できる）。	1	
京都駅近くに音楽ホールができるのは良いことだが、既存のKCHやロームシアターとの棲み分け、京都駅の周りのアバンティ等のホールとの棲み分けの観点も必要。	2	教育研究機関の施設であることを踏まえながら、既存ホールの規模等も勘案し、整備を進めてまいります。
地域が京都の文化ゾーンとしての性格も帯びてくるかと思うが、岡崎との棲み分けの観点も必要。	1	教育研究機関である大学を核とした「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生を目指してまいります。

3 基本理念・施設整備方針（78件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
新キャンパスには、図書館など大学関係者だけでなく一般の人も自由に使えるスペースや施設があればよい。	3	市民の皆様も自由に利用できるスペースを設けることとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
誰もが利用できるお洒落な学食兼レストランや小売店舗の整備も併せて行い、芸術に興味のない人が訪れるきっかけを作っていくことも大切な要素である。	3	
先行施設については、芸術大学が移ってくるまでの間は市民が使えるのか。学生が移ってくるまでは、市民が使えるとよい。	1	
芸大の学生だけでなく市民が広く利用できる音楽ホールや練習スタジオ、絵画展スペースなどを設けてほしい。京都駅の東・芸大キャンパスへ行けば、芸術に気軽に触れることができる環境があるという認識を市民全体に広げ、全国に広げる機会になる。	1	
大学と崇仁地域の方々、産業界、文化関係者、他大学など外部の交流が自然と生まれ、そこから新たな取組が生まれるようなキャンパスにしてほしい。	3	
移転を機に、更に積極的に大学が主体となって地域との協働に努めていってほしい。	2	

3 基本理念・施設整備方針（続き）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
芸大が移転してくることで地域が活性化することを期待している。	8	新たな人の流れを創出し、周辺も含めた地域の活性化に資することを目指し、音楽ホールやギャラリーを整備することとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
学生さんがただ学ぶだけでなく、そこで十分な研究をする必要があります。そのための制作室とか、音楽練習室、リハーサル室、研究発表スペースは十二分に用意してほしい。	2	
芸大を訪れた際に階段が多く作品や楽器の移動が大変そうだと感じたのを覚えている。せっかく崇仁地域で新しく建築するので、数十年後のことをできるだけ見通して充実した施設を造っていただきたい。	1	学生や教員が新たな試みも展開できるよう、実習室・制作室・レッスン室・練習室・講義室等を充実する予定であり、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
設備が古く、防音や冷暖房が十分ではないことに不満を感じている。これからの芸術家を育てるために、新しい施設が必要だと思う。	1	
地域住民や子どもに芸術への関心を育ててほしい。	3	幅広い年代を対象に芸術教育を提供できる施設の整備を検討することとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
伝統音楽の研究機関については、京都で行われている能・狂言・京舞などの伝統芸能に幅を広げた取組を行い、より充実した研究機関となってほしい。こうした機能が京都芸大にあることで、全国の研究者、伝統芸能関係者等が京都市に集まり、京都の文化芸術により一層の厚みが出る。	2	伝統音楽の研究については、平成12年に日本伝統音楽研究センターを設置し、研究を進めており、国内外の研究者・研究機関と連携した研究成果の共有などにより、日本伝統音楽の核となることを目指してまいります。
京都の伝統芸能や伝統文化等の保存と継承に向けた研究機能が必要ではないか。また、伝統芸能を支える衣装や道具等を製作している職人が減少しており、こうした技術の継承と人材の育成についても移転に合わせて、大学の機能として拡充すべきではないか。	2	御意見を参考にさせていただきます。
美術品、文化財の修復などの作業やその勉強などはしないのか。	1	平成12年に大学院美術研究科修士課程において、保存修復専攻を設置し、教育研究を行っております。
大学が地域に存在することで、長きに渡り崇仁地域が抱え続けてきた問題を解消する側面があることは否定しないし、それは良いことだと感じる。しかし、大学の本来の機能はアカデミーとして、勉学、自己研鑽、研究などの活動をする場所であり、一般の世間の混沌からは一線を画した独特の空気感を持った異空間をもたらすものであるべきである。決して市場や飲食街などのような意味での賑わいをもち込むものとして発想するべきではない。そのようなある意味で超然とし、厳粛な雰囲気をバックヤードにしっかりと確保した上で、フロント・エンドには親しみやすさを感じさせるようなキャンパス構想を目指すべきである。	1	施設配置等につきましては、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
今回の都心回帰に当たって、研究環境の充実を行っていただきたい。	1	研究スペース、収蔵施設など、研究環境を充実することとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。

3 基本理念・施設整備方針（続き）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
千年の都のふさわしい京都の文化芸術の発信拠点となることを大いに期待している。今後とも公開講座や展覧会や演奏会などを通して尚一層市民に開かれた芸術大学として百年後を見据えたそれに相応しい国内トップレベルの環境が提供されることを期待する。	3	市民の皆様が、京都芸大の様々な活動を見ることのできる施設配置を行い、気軽に訪れたくなるような地域・社会に開かれたキャンパスとすることとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
京都駅近郊に移転されるということで、今後、より芸大が身近になると思う。学生の活動（作品展など）に身近に触れることができるようになることが楽しみである。	3	
自由な校風を今後とも大事にし、広く市民が集まれるような大学としてほしい。	2	
キャンパスの敷地内で野外コンサートを開催するなど、区民や市民も気軽に立ち寄ることができる施設にしてほしい。	2	
京都駅近くへの移転ということで、京都芸大を国内外によりいっそうアピールできるのではないかと思う。各種の展覧会や演奏会もこの地であればたくさんの方が来ていただけたらと思う。	2	
移転整備には、市民からの理解・協力・支援が必要である。これらを得るためには、京都芸大が公立大学としての役割をきちんと認識し、そして市民に大学の成果を還元していく必要がある。市民の目線に立って活動していただきたい。	3	公立大学として京都芸大が有する文化資源や教育・研究成果を、より一層市民・社会へ広く発信するための施設・機能を充実することとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
移転先は京都の一等地であり、また、京都芸大は市立で税金が多く投入されているので、普通の大学以上に市民還元という視点を特に強く強く強くもってほしい。もっと汗を流して地元や観光客に還元してくれることを期待している。	3	
大学の敷地を災害時の避難場所に指定しておくべき。また、災害に備え、地域の備蓄をお願いしたい。	3	災害用資材の備蓄スペース等の防災機能を整備するなど、災害時に避難所としての役割を果たすことができるキャンパスを目指し、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
新キャンパスは、新幹線やJRから見えることになると思うので、京都のシンボリックな建物となるようなデザインにしてほしい。京都芸大自身の宣伝にもなる。	3	施設のデザイン、配置等については、京都駅から東山の文化ゾーンへの動線や鴨川、高瀬川、東山への眺望等の景観との調和に配慮するとともに、近隣地域の生活環境にも配慮したものとすることとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
高瀬川周辺の自然を利用してほしい。	2	
観光資源としての価値を大学の活動そのものに見つけようとするべきではない。キャンパスの景観、建物だけを見ることに価値があるようなものにするべきである。	1	
区役所のような建物ではなく、周囲の環境とも調和しつつ、京都らしさもあるような、そして将来京都芸大らしいといわれるようなデザインの建築としてほしい。	1	
駅に近いながらも、鴨川にも近く、すこし歩けば東山の寺院というように、街中でも多くの歴史や美に触れる機会がある京都の強みを活かせる立地だとも思う。京都らしく且つ芸大らしいキャンパスづくりをお願いする。	1	
陶磁器専攻及び彫刻専攻の窯が焚けなくなる可能性が高いこと、街中へ降りてゆくことにより周辺住宅地への騒音被害が懸念され、それにより制作の幅が狭まること（たとえばチェーンソーや切削機などの使用により苦情が来ること）が懸念される。	1	
大周辺に住む方が住みにくいまちとなることがないように、開かれた施設計画を検討してほしい。	1	

3 基本理念・施設整備方針（続き）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>災害防災機能を整備するとあるが、検討の前提として電気、ガス、水道のインフラがどのような状況となっているケースを想定しているのか。避難所として活用するのであれば電気・ガス・水道の全てが途絶するケースを前提とすべきと考えるがどうか。</p>	1	<p>防災設備の具体的な機能については、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。</p>
<p>非常用発電機については防災体制強化の観点からいえば空冷式の油焚き方式が望ましいと考えるがどうか。</p>	1	
<p>施設整備にあたっては低炭素のまちづくりを意識してほしい。</p>	1	<p>再生可能エネルギー、市内産木質材料の活用等による環境負荷の低減や施設の適切な維持管理についても検討するなど、ライフサイクルコストの最適化を図ることとしており、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。</p>
<p>再生可能エネルギーとして、井水、地下水熱や下水熱を利用する考えはないのか。例えば、下水熱については、平成27年2月20日に「下水法」等の一部を改正し、再生可能エネルギーの活用を促進するため、下水道内の暗渠内に民間事業者による熱交換機の設置を可能とする規制緩和を実施することが閣議決定されているが、これを受けて対応されるのか。</p>	1	<p>エネルギーの効率化を図る設備の具体的な内容については、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。</p>
<p>施設の管理者・利用者の省エネ意識を高めるには、エネルギーの使用量を「見える化」することが有効である。「見える化」については、消費電力量を減らすとの主旨であれば、機器・設備の導入の促進に加え、インターネットを利用した電力会社の事業者向けエネルギーの見える化サービスを利用する考えはないのか。</p>	1	
<p>新しいキャンパスは耐震対策をしてほしい。</p>	1	<p>高い耐震性能を備えるなど、訪れる方が安心して安全に各種活動に取り組めるキャンパスとすることとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。</p>
<p>今回の移転は大変良いことだと思う。音楽や絵を身につけるには小さいときからが大事で、この機会に小中一貫校といったことも考えて建設して、芸術家を出していただきたい。</p>	2	
<p>基本構想案に、他の芸術教育施設を合築することが考えられていると書かれていたが、高大一貫教育というのは無理なのか。高校で基礎を学び、大学で専門性を学べば、若い素質に更に磨きがかかると思う。是非、検討してほしい。</p>	2	
<p>2018年問題やピアノ離れなど、志願者の確保は京都芸大にとっても頭の痛い話だと思う。これは美術も同じであり、移転地に音楽高校や美術高校を移転する、あるいは子どもの音楽教室を移すなど、学生確保対策が必要だと思う。</p>	1	<p>幅広い年代を対象に芸術教育を提供できる施設の整備を検討することとしており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において更に検討を進めてまいります。</p>
<p>京都には幸運にも、京都芸大音楽学部の研究機関である「京都子どもの音楽教室」がある。是非、芸大移転の際には、この芸大研究機関である「京都子どもの音楽教室」の一部を新校舎の中にも入れていただくよう、強く希望する。</p>	1	

4 移転予定地の利用計画（55件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>「芸術の才能・感性を育む関係機関との連携」を目指し「京都芸大との連携により芸術的教育に貢献できる施設の導入を検討します。」とあるが美術専門教育を行う全国で唯一の公立高校である「京都市立銅駝美術工芸高等学校」を移転させ、芸大と美工が合築するのが一番ふさわしいと思う。この事柄が実現すれば世界でも類の無い学校となる。</p>	20	<p>基本理念の視点の一つである「芸術の才能・感性を育む関係機関との連携」を踏まえ、C地区に京都芸大との連携により芸術的教育に貢献できる施設の導入を検討することとしております。</p> <p>御提案の内容については、京都芸大及び教育委員会との協議が必要なことから、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。</p>
<p>銅駝美工も芸大も、もとは明治13年に開校した京都府画学校であるのに、現在は全く別の学校になってしまっている。多くの素晴らしい卒業生がばらばらの関係にあるのは、美術・工芸において日本一である京都の発展を阻害しているとしか考えられない。芸大の移転を機に、是非とも全国でただ一つの美術工芸の公立高校である銅駝美工も同様に移転させ、「京都市立美術工芸高等学校」という名前を取り戻すべきである。</p>	3	
<p>グラウンドはどうなるのですか。別の土地につくるのか。体育の授業やクラブ活動はできなくなるのか。</p>	11	<p>運動場については、大学設置基準により、法令の規定による制限その他のやむを得ない事由がない場合は、原則として校舎と同一の敷地内又はその隣接地に設けるものとされております。</p> <p>具体的な規模等については、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。</p>
<p>基本的に敷地面積が狭い。JR京都駅南側には使用されていない小学校や空き地が多いので、将来的にはそちらの方面へ広げていくべきだと思う。</p>	3	<p>構想(案)は、まず崇仁地域の3区画への移転整備の基本的な考え方をしっかりと整理するべきと考え、取りまとめたものです。</p> <p>敷地の拡張については、本市の財政状況やまちづくり等の観点を踏まえて、検討してまいります。</p>
<p>京都芸大が東京芸大と並ぶ総合芸術大学の西の雄となるためには今後、専攻や学部を拡充、研究組織の拡充が不可欠だ。そのためには、敷地がまったく足りないと思う。</p>	3	
<p>予定地の南側にひかり公園があるが、あまり使われていない。この際大学敷地に含んで有効活用してはどうか。</p>	1	
<p>現キャンパスは緑が多く、比較的ゆったりとしていて、芸術教育を行う環境には向いていると思うが、移転予定地では敷地面積が小さくなり、市中心部ということで都市型の高層でコンパクトなキャンパスにならざるを得ない。これでは学生の創造力や発想力に影響を及ぼすのではないか。</p>	1	<p>移転予定地は現キャンパスよりも敷地面積が減少しますが、大学とも十分に協議し、機能の連関性を踏まえた施設の有機的な配置や効率的な空間の利用により、都市中心部における創作活動にふさわしいキャンパスを目指してまいります。</p> <p>加えて、本市では、「駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会」からの提言を踏まえ、エコ・コンパクトな都市構造の実現に向け、移転予定地の一部を含む京都駅周辺の地域など、市内5箇所において、用途地域や容積率等の見直しを進めており、その見直し内容も活用しながら、移転予定地の利用計画について検討してまいります。</p>
<p>交通の便利な場所への移転はよい事だと思うが、一方で自然の少ない発想力の少ない、きめられた形での教育になるのではないか。のびのびとした教育は大丈夫か。</p>	1	
<p>狭あい化のためキャンパスが移転される旨など記されているが、かえって敷地面積が狭くなる。そのことに関して打開策は示されていたが実際のところC用地20000平方メートルやA用地12000平方メートルがどのくらいの広さで、現在と比べるとどう制作環境が改善されるかなど不透明。</p>	1	
<p>こないだ市民しんぶんに用途地域の変更について書かれた記事があったと思う。京都駅周辺も規制緩和されると書いていたと思うが、移転先はどうなるのか。もし、緩和されるのであれば、緩和を有効に活用して都市型のキャンパスにするとよい。</p>	1	
<p>C地区には敷地内にバスの駅などバス待ち環境を整えるべき。</p>	1	

4 移転予定地の利用計画（続き）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
音楽ホールは、できれば大・中・小ホール3カ所必要だが最低でも2つ必要。 大ホールはクラシック音楽の雰囲気や景観など考慮すると鴨川近辺が良いと思う。ここは京都駅から少し離れるが、京阪七条駅からも近いので、不便は無いと思う。	4	御意見を参考にさせていただきます。
今回の移転で京都駅から東山へ人の流れが期待できることは素晴らしいことだと思う。ぜひ市内を多くの観光客や地域の方々が動くような大きな流れにつながることを期待している。	3	地域のにぎわいや京都駅・東山間の動線の創出を図れるよう、取り組んでまいります。
3つの地区とも南側以外に入口を作るべき。	1	御意見を参考にさせていただきます。
A地区・B地区・C地区の距離が少し離れているので、動線をきちんと確保した方がいいのではないかと。	1	大学としての機能が最大限に発揮されるよう、また、大学内の交流・連携や成果の発信、大学と市民等の交流が一層生み出せるよう、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。

5 必要と考える規模（8件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
せっかく様々な都市計画（「都市再生緊急整備地域」「高度利用地区」「土地区画整理事業」）が定められている地域なので、「暮らし・にぎわい再生事業（事例：大阪府高槻市 JR高槻駅北東地区）」や民都機構による「まち再生出資」「共同型都市再構築」などを活用することで、京都市の費用負担の軽減を実現してほしい。	1	施設全体の具体的な必要規模及び整備費用については、本市の財政状況や後年度負担を考慮しながら、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
設備の導入なども記されていたが、移転にも莫大な資金がかかることが予想される中で、本当にそんな資金が確保されているのか。	1	
京都駅から東山境界の観光地への動線でもあることから、観光客が気軽に立ち寄れるよう、ちょっとしたカフェやレストランも併設してほしい。	1	
首都圏一極集中を解消するためにも、このエリアに観光庁と文化庁を誘致し、京都が国のソフトパワーの強化を支えてほしい。	1	
学内に催物のできるスタンドを造ってほしい。	1	
スーパー銭湯みたいなものがほしい。	1	
塩小路通の河原町に高齢者施設を作してほしい。	1	
新しい大学の一角に、市民ならだれもが利用できる工作室を作してほしい。	1	

6 移転予定地の既存施設（21件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
浴場はコミュニケーションの場であるので残してほしい。	5	崇仁第三浴場については、現在、下之町西部団地の住民を中心に利用されていますが、同団地の更新住宅には各住戸に浴室を設置する予定であり、同団地の移転及び入居に一定の目途がついた段階での廃止を考えておりますので、御理解ください。
柳原銀行記念資料館が存続されるようであり一安心している。是非とも芸大の一部として運営して教授・学生・職員が部落差別や色んな人権について学ぶ施設として最大限に活用することを提案する。	4	地方独立行政法人法により、公立大学法人が大学等以外の施設を運営することはできませんが、人権学習に活用することについては、検討してまいります。
保育所を京都芸大と合築するなど、近くに作ってほしい。	3	崇仁保育所につきまして、下京区全体の保育需要等を踏まえ、立地場所や整備手法等を含め、再整備を検討しており、御意見を参考に、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
下京全体の保育所を考えればよい。	1	
ふれあいサロンを廃止していいのか。高齢化の時代に高齢者施設を潰すのか。	3	高齢者ふれあいサロンの機能については、下之町西部団地の更新住宅に配置予定である集会室において代替することが可能であると考えておりますので、御理解ください。
ビオトープの再生をお願いしたい。	3	元崇仁小学校内のビオトープにつきましては、地域住民の方の声もお聴きしながら、今後、整備基本計画において検討を進めてまいります。
小学校のグラウンドは我々が作ってきたものだ。今でも少年野球や地元の体操で使っているので大学が勝手なことを言わないでほしい。	1	現在、元崇仁小学校のグラウンドを利用されている方々と十分な協議を行い、今後の運用について検討してまいります。
公園を整備してほしい。	1	崇仁公園については廃止しますが、土地区画整理事業により、施行地区内で別途公園を確保する予定にしております。今後、御意見を参考に、整備を進めてまいります。

7 事業スケジュール（9件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
崇仁のまちづくりを進めるきっかけになってほしいので、一刻も早く移転してきてほしい。A地区の一部のみ先行移転となっているが、ひとつの学部がまとまって移転するなど考えてほしい。他の大学ではキャンパス分散は当然となっている。	4	崇仁地域のまちづくりを早期に進めるとともに、崇仁地域における京都芸大の教育研究の成果も早期に発信できるように、教育研究成果を発信する施設の一部を、大学創立140周年である平成32年度完成予定として、A地区に先行して整備します。 なお、学部ごとの移転につきましては、仮設事務棟の整備費等の追加コストの発生や大学運営体制の変更頻度が多いことなどから、困難であると考えております。
京都にあこがれていて、しかも駅前でコンサートができると聞いて楽しみだ。10年後といわず、早く音楽ホールを作ってほしい。	3	
平成35年までに移転というのはとても遠いことのように感じる。しっかりと計画を立てて、途中で終わることがないようにお願いします。	1	
新しいキャンパスの供用開始が平成35年と予定されている。今からたったの10年しかその期間がない。果たして、このような突貫作業でこれから先、100年、200年のスパンで使い続けられるキャンパスを作ることができるのか、非常に疑問である。移転予定地域が長い間京都市の中の「空洞」のように、行政の十分な手当がなされず地盤沈下の一途を辿っていた場所であり一日でも早く活性化をもたらせたいという政策があることには一定の理解をするものであるが、そのような事情が優先して本来の大学キャンパスとしての十分な設計をしないままの、見切り発車のような供用開始には反対である。大学のキャンパスとは大学の教育構想を反映したものでなければ意味がない。	1	崇仁地域への移転整備は、京都芸大の一層の発展はもとより、京都市全体の発展にも資するものとなるよう取り組んでおります。 世界に向けて一層の飛躍を目指す大学としての機能が最大限に発揮されるよう、今後も大学とも協議しながら、施設配置の検討や設計等に取り組んでまいります。

8 事業手法（1件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
事業手法については今後検討していくと書かれてあるが、民間活力も含め、コストを意識した事業手法をしっかりと検討してほしい。	1	事業の特性等に配慮しながら、本市の財政状況を踏まえて総合的に事業手法を判断してまいります。

9 移転整備プレ事業（1件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
開校イベントを大規模開催して、下京区民への理解と責任感を促す。	1	移転までのプロセスも重要であることから、この移転整備完了までの期間を有効に活用し、地域の方々との連携の下、移転先である崇仁地域で様々な活動を行い、取組を進めてまいります。

10 西京区・洛西地域の取組（9件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
移転後の沓掛キャンパス跡地はどのようなになるのか。ぜひ、これらの自然の姿を最大限に残し、洛西地域にとっても財産になるような場としての跡地活用計画を望む。	3	<p>京都芸大の移転は、京都のまち全体の発展に資するものでなければならず、洛西地域をはじめ西京区についても、京都芸大の移転を機に改めて地域の魅力を見つめ直し、地域住民の皆様と共に地域の未来を切り拓いていくことが重要と考えています。</p> <p>このため、平成26年7月には「西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会」を設置し、この中で、住民円卓会議を開催するなど、地域の皆様の幅広い御意見を丁寧にお聴きしております。</p> <p>来年度も予算を計上し、引き続き地域の皆様と活性化策について検討を重ね、将来の京都芸大の移転を見据えた地域の新たな活性化策を検討し、洛西地域、更には西京区全体の更なる発展につなげてまいります。</p>
西京区から移転されるのが残念で仕方ない。オペラや芸祭など、毎年楽しみにしていた。この間の西京区での経験を新しい場所でも生かし、ますます発展してほしい。移転されても、西京区で無料で何かしてほしい。	2	
洛西地域にもっと若い世代に住んでもらうために、移転後の芸術大学跡地には、子どもを連れた家族が遊びに行ける施設や緑地公園などを整備してもらいたい。	1	
芸大の移転につき住民円卓会議に参加したが、新たな移転後の活性化策には地域と京都市の円卓会議をかさねる事により地域のコミュニティ活性化に繋がると思う。	1	
洛西西京区の今後の発展にはどれだけの支援をされるのか。可能性のある西京区で新しく産業や観光をつくり出して行く事が今後の文化の創造力の発信につながると思う。多くの人が来る町をめざして一極集中ではキャパ不足になるのでは、新しい企画が必要ではないか。	1	
移転計画の発表時には、京都芸大の下京移転と洛西の活性化が並行して進められるようなトーンであったが、今回の基本構想では下京のことしか書いていない。洛西については活性化懇談会を設置することだけで、具体的な対応策もスケジュールもない。地元の反対を抑えたら何もしなくて良いという役所の本音が出てくるのではないか。 下京が芸大移転で活性化すると考えるのなら、洛西にも同等以上の活性化策が必要です。公共交通の利便性向上など、具体的方策を早急に提示していただきたい。	1	

11 その他（24件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
七条通と八条通をつなぐバスを作るなど、芸大の移転整備で地域が分断されないようにしてほしい。	3	御意見を参考にさせていただきます。
今後の計画は、市民や学生の意見を入れるため、委員を公募されることを望む。	1	本構想の策定に当たっては、大学教員との協議や学生へのインタビュー、崇仁地域を含む京都駅東部エリアを中心とした地域の方々とワークショップ、今回の市民意見募集を実施しており、今後も様々な方々の御意見をお聴きしながら、移転整備事業を進めてまいります。
美術と音楽という専門的な分野の研究・発表にふさわしいものにするために何より芸大の教員、職員、学生の意見を取り入れてほしい。	1	
烏丸通より東、正面通りより南に住むか勤めている方の意見を尊重してあげてほしい。	1	
移転後、大学には移転の成果をきっちりと出してもらわないといけない。移転の成果が、例えば展覧会や演奏会の客数がこれだけ増えたとか、受験生がこれだけ増えたとか、市民に分かる形で示されなければならない。そうでないと市民は納得しない。	2	移転整備による成果が市民の皆様にしかりと説明できるよう、取り組んでまいります。
移転時期をまたぐ学生へのケアをしっかりとしてほしい。学生への蹴寄せは避けていただきたい。	2	移転整備によって、学生の活動に影響が出ることはないよう、取り組んでまいります。
地域の歴史文化の継承が必要。	2	御意見を参考にさせていただきます。
税金ばかりに頼らず、大学が努力してお金を集めればいいのではないかと。著名な卒業生の絵を売るとか、著名な卒業生の指揮によるコンサートを開催し、入場料の一部を寄附にまわすなど、そういう努力を市民に見せることが重要である。	1	寄附につきましては、移転整備事業に御理解を得ながら進めていく必要があり、その方法等について、検討を進めてまいります。
芸大は、税金を投じて整備するだけでなく、市内在住の場合、入学金が優遇されている。有志の寄付に頼るだけでなく、大学として責任ある資金計画（億単位の負担は欠かせないかと）を立ててほしい。	1	京都市が大学の設置者として移転整備事業を進めてまいります。本市の財政状況も踏まえ、寄附金などの外部資金についても芸大と力を合わせて努力してまいります。
外部の卒業生も教員に入れるべき。	1	現在でも外部の卒業生である教員が在籍しています。
今回を機に校名を募集し改称することはないのか。	1	校名を改称することは考えておりません。
計画等の発表の際には経過説明の中で①移転計画地区の金網で囲まれた土地の形成過程、②大学が同地への移転要望書を提出するに至ったプロセス。特に学内意見の集約状況についても説明してほしい。	1	①住宅地区改良事業において、用地買収の難航等から、取得用地が分散、点在しておりますが、平成31年度の完了をめざし、区画整理事業との合併施行を導入するなど、事業を推進しています。 ②京都芸大では移転に向け、全教職員が参加できる「施設整備に関する会議」を計15回、「同作業部会」を計20回開催するなど、学内での検討を重ねてきております。
建築、移転、土地、資金の流れ等について透明性を確保すること。	1	公正性や透明性、客観性などが確保された現行の手に則って、今後も進めてまいります。
今後、広報等で同地域への移転をPRされることになると思われるが、崇仁地域への記載ではなく、京都駅東部エリアへというような記載にいただきたい。	1	市民に分かり易い表記となるよう努めてまいります。
案内を整備してほしい。	1	御意見を参考にさせていただきます。
崇仁地域への移転までの間、現キャンパスの施設のメンテナンスはどうなるのか。	1	必要な修繕はこれまでから行っており、移転までの間においても、学生等の教育・研究環境を保障するために、必要な修繕等には適切に対応してまいります。
一般論として、学長や理事会が決定したことについて、直接責任を負う立場にない教授会の議論によって、学長や理事会の意思決定を事実上否定するような権限と責任の不一致が生じてはならない。この移転整備事業においては、新しい学長さんや理事会にリーダーシップを存分に発揮していただきたい。	1	御意見を参考にさせていただきます。
駐輪場・シェアサイクルの仕組みを計画段階から盛り込むこと。建物に近い場所は有料や屋根無し、建物から遠い不利な駐輪場は無料の屋根付きなど。コミュニティサイクルの拠点でもよい。	1	
レッスン室の使用を朝7時から11時までとする。 レッスン室や練習室のスタインウェイの数を増やす。 図書室の休日使用可にする。 奏楽堂にはパイプオルガンを設置。舞台にはファチオリ、スタインウェイ、ヤマハc f x、シゲルカワイのフルコンを設置。ピアノ科以外の生徒の使用も可能とする。	1	